

# 酒々井町多職種連携の会たより

第1号



酒々井町役場健康福祉課  
酒々井町地域包括支援センター

平素は町の健康・福祉事業にご理解ご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

さて、酒々井町では、団塊の世代が75歳以上となる2025年を目処に、医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けられるよう、在宅医療と介護を一体的に提供できる体制の構築を進めています。

その一環として、地域の医療機関、介護事業所など多職種が協働して連携するために、『酒々井町多職種連携の会』を開催してきました。医療職・介護職が合同で研修会、意見交換をすることで顔の見える関係を作り、連携が深められるよう取り組んでいます。

会を重ね顔の見える関係作りが少しずつ進んできましたが、新型コロナウイルス感染症により今年度の開催は中止せざるを得ませんでした。来年度は新型コロナウイルス感染症の状況をみながら開催時期を検討していきます。開催の際は、改めて皆様にお知らせしますのでよろしくお願い致します。

## ～酒々井町多職種連携の会・これまでの開催内容～

### 【平成30年度】

- 第1回 『酒々井町オリジナルの連絡票を作ってみよう』
- 第2回 『在宅医療における薬剤師の役割』  
講師：公津の杜真鍋薬局 伊藤雅代氏
- 第3回 『お薬手帳などを活用した連携方法』
- 第4回 『在宅介護と医療の連携について』  
講師：つかだファミリークリニック 塚田雄大氏

### 【令和元年度】

- 第1回 『高齢者救急の現状と医療・介護との連携』  
講師：佐倉市八街市酒々井町消防組合 井原健氏
- 第2回 『ACP アドバンス・ケア・プランニングとは』  
講師：上智大学大学院 井口真紀子氏
- 第3回 『千葉しすい病院との連携』  
講師：千葉しすい病院 山本陽史氏
- 第4回 新型コロナウイルス感染症のため中止としました



グループワークで連携ツールについて意見を出し合っていたいただき、酒々井町医療介護連絡票、酒々井町医療介護連携シールを作りました！

各グループの案を発表し、比較検討しました



遅い時間にもかかわらず、多くの方に参加していただきました



酒々井町医療・介護連絡票 (FAX用)

送信日 年 月 日

宛先	発元	事業所名: .....
		担当者名: .....
		電話番号: .....
		FAX番号: .....

様

用件 \_\_\_\_\_ 様の件です

.....

.....

.....

ご多忙のところ恐縮ですが連絡方法、またはご回答をいただければ幸いです。よろしくお願い致します。

【連絡方法】

直接会いませ (時間帯: 月 日 時頃)

電話を下さい (時間帯: 月 日 時頃)

メールにて連絡希望 (アドレス) \_\_\_\_\_

回答欄

**酒々井町医療介護連絡票**

医療機関、薬局等と介護事業所との連絡方法を共通化し、効率的な情報伝達、連携促進を目的としています。

酒々井町ホームページよりダウンロードしてご使用ください。

酒々井町医療介護連携シール	
ケアマネジャー	
事業所名	
電話番号	( )
かかりつけ医療機関	
手帳貼付日	年 月 日
何かありましたらご相談、ご連絡ください。	

**酒々井町医療介護連携シール**

お薬手帳に貼っていただき、医療機関、薬局とケアマネジャーとの連携促進に活用します。

シールは健康福祉課介護保険班、地域包括支援センターで配布しています。

## 『虎の門クリニック、大前先生へのインタビュー』

令和2年8月28日(金) 午後1時半～2時半

このたび、令和元年に酒々井町に酒々井虎の門クリニックを開業された、大前先生にインタビューをしてきました。



### ①まずは、先生の簡単なプロフィールなど、教えていただけますでしょうか。

鳥取大学を出た後、虎の門病院に就職しました。当時、虎の門病院では、様々な科での研修を受けることができました。所属は消化器外科でしたが、アメリカ式の研修で、内科や整形、脳血管、小児、婦人科などそれこそ何でも幅広く研修を受けられました。そのため、いろんな科の医師と親しくなり、事例発表を行ったり、いろいろなことを教えてもらうことができました。多くの患者さんを診ることができ、多岐にわたる内容でした。

そこで6年くらい経ってから、元々地域の医療をやりたいという気持ちがあったため、平成2年に新浦安に虎の門クリニックを開院しました。当時新浦安では医師が不足しており、小児や整形、婦人科も少なかったため、ある程度なんでも診ないという状況でした。そんななか、虎の門病院時代には外科をやっていたのですが、手術とかをしてもよくなる患者さんなども見ているなかで、癌そのものの予防とかそういうことをできないかと思って、開業してから、健診や人間ドッグに力を入れるようになりました。また、当時在宅医療という考え方がなかった時代ですが、困っている人がいたため訪問をやっていて、30人くらいの患者さんを回っていました。難病の患者さんが大変でしたね。ALSの患者さんを3人くらいみていたこともあります。神経内科の医師と連携を取りながらやっていきました。一通りのことはやってきましたね。自分が行けないときに心配な患者さんには、看護師に行ってもらいましたが、当時は訪問看護がなかったため、ボランティアのような形で行っていましたね。のちに訪問看護の制度ができて、クリニックで行けなくなってからは、訪問看護ステーションを立ち上げました。



明るく、落ち着いた雰囲気の待合室



玄関でお出迎えしてくれる亀ちゃん(^^)

## ②このたびの開業にあたってのお話をお聞かせいただけますか。

虎の門クリニックも医師や看護師が増えていきました。実は以前から酒々井町が好きだったので、5年くらい前から酒々井町で開業したいと考えていたのです。酒々井町は自然に囲まれているし、市でなく町として頑張っている。まちなみとかをみても良い感じだと思ったので、開業することに決めました。

酒々井町はクリニックも少ないようですし、内科の先生も少ないと聞いて内科、乳腺もできるので乳腺外科というように必要と思われる科目を入れていきました。幅広く何でもやってきているので。また、浦安でも子供も診ておりましたので、小児科も掲げました。子供からお年寄りまで来てもらえる総合診療というふうになっています。

健診に力を入れているので、町の特典健診や乳がん検診(マンモ・エコー)も実施することになりました。ほかの行政機関の職員の乳がん検診などもおこなっています。また、今後、健診センターを作ろうと考えています。健診で内視鏡が必要になった方に対して、胃と大腸の内視鏡も始めています。

虎の門病院の医師が地域医療の研修を浦安や酒々井のクリニックで行うこともあります。近隣の病院との連携もしており、佐倉市や成田市の病院と連携しています。





マンモグラフィの検診車  
マスコットがかわいい！



③先生の思う、医療と介護の連携についてお聞かせください。

介護の分野については、今後、虎の門クリニックで医師が増えた場合には、自分も訪問診療ができるかもしれないという考えはあります。ケアマネジャーさんが患者さんのことについてお尋ねになりたいことがあった場合は、電話やFAXでもなんでも、積極的に連絡をしていただければと思っています。



モダンな雰囲気の外観



広々とした駐車場

④超高齢化社会を迎える中で、先生が大切だと思ふことなど自由にお聞かせいただければと思います。

これから酒々井も、後期高齢者の人口が増えてくるとお聞きしています。予防医学と総合診療で、いろいろなことができたらいいなと思っています。また、酒々井町はバスなどが少ないため、ご高齢などでクリニックに行けない患者さんについてなども、今後考えられたらなと思ふ部分はあります。

先生とのインタビューは終始なごやかな雰囲気、ここには書ききれないくらいの楽しいお話をいただけました。クリニックは落ち着いた外観で、待合室はとてもきれいで明るい雰囲気です。駐車場も40台ほど完備しています。今後は池をつくり、そこには鯉や金魚が泳ぐ予定だそうです。

聞き手 保健センター 高柳  
介護保険班 田村

【医療法人社団 新虎の門会 酒々井虎の門クリニック】

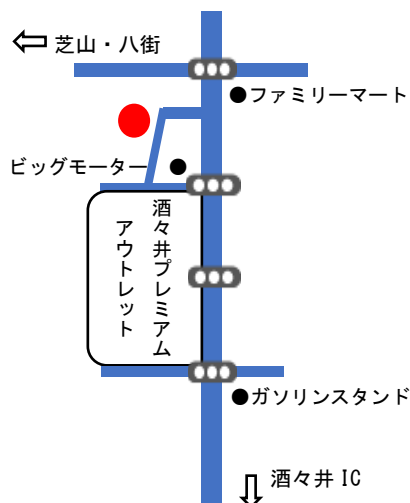
酒々井町飯積2-8-9 TEL:043-310-7021

診療科目:呼吸器内科・消化器内科・糖尿病科・内分泌内科・アレルギー内科・乳腺外科  
漢方内科・小児科・循環器内科

診療時間:

受付時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~11:30	○	◎	○	休	○	◎	◎	休
15:00~17:30	◎	◎	◎	休	◎	△	△	休

○:健診日 ◎:外来診療 △:14:00~17:00  
休診日:木・祝日



## デイサービス・エコトピア酒々井 ～新型コロナウイルス感染症 感染予防の取り組み～



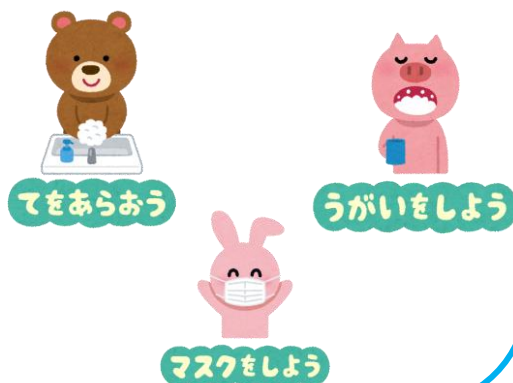
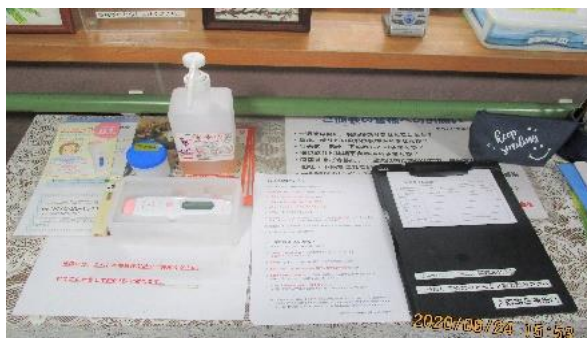
新型コロナウイルス感染症予防のため各施設・事業所では密接、密着、密集の3密を避け、クラスター発生予防の為様々な取り組みを行っています。

今回は、デイサービスの他、特別養護老人ホームや短期入所施設、軽費老人ホームなどを併設している地域のかなめである エコトピア酒々井の取り組みを紹介します。

### 手洗い・うがい・マスク着用

エコトピア酒々井では、新型コロナウイルスが流行る前から来所者には、石鹸での手洗いと強酸性水のうがいをお願いしていました。

今年2月以降は受付窓口でマスクの着用、検温、手指のアルコール消毒を行っています。



### 飛沫を飛ばすカラオケは中止にして、その分個別リハビリを強化しました

前を向いてできるクイズや脳トレだけでは身体を動かす機会が無く、運動不足になりがち。そこで参加者を半分ずつに分けて前を向いて体操をしたり、座ったままゆっくり動く座敷太極拳などを取り入れました。



### 換気・清掃

室内やトイレは次亜塩素酸、送迎車はアルコール、浴室はイス、かご、浴槽を含め浴室洗剤（界面活性剤入り）で洗っています。

一つのテーブルに着く人数を制限したり、エアコンをつけながら換気もしています。



## 体調変化を見逃しません

ソーシャルディスタンスが難しいと言われている高齢者施設ですが、座席はできるだけ離しました。デイサービス利用者には、自宅で検温し 37.5 度以上の発熱があれば休んでいただきます。仮に来所してから体調不良があれば和室で休み、家族に連絡して受診をお願いします。

認知症や自覚症状がうまく訴えられない方も、顔色など普段と違いが無いか、体熱感やふらつき、傾眠、落ち着かない、動かないなどの変化を、看護師をはじめ全職員が注意しています。



座席を離し、窓を開けて換気し、3密にならないようになっています

## 職員の健康管理

新型コロナ感染の前から職員への一斉連絡はメールで行っていました。職員全員での研修会が出来ない現在、メールで新型コロナウイルスや市中の感染状況を勉強し、注意喚起しています。

職員は、毎日体温を測定し平熱より1度高かったり体調不良があれば自宅待機になります。今年は職員旅行を中止し、普段から人込みには出ない、手洗い・うがいを習慣化するなど健康管理に十分気を使っています。

マスクを外す昼食休憩もソーシャルディスタンスを保っています。



## WEB 面会

感染防止の為面会を制限しています。本人と直接会えなくても、タブレットを通じて本人と話すことができます。

やり方がわからなければ職員が付き添います。



### ◆発行・編集◆

酒々井町役場健康福祉課

酒々井町中央台 4-11 TEL 043(496)1171 (代表)

酒々井町地域包括支援センター

酒々井町中央台 4-11 TEL 043(481)6393